

## 作業員が重傷を負う事故が発生しています

作業中に鋼材が落下するなどして負傷する事故、路上で作業中に一般車両にはねられる事故が発生しました。作業方法、作業場所等について再度確認し、同種の事故が起きないように気をつけてください。

### 事例① 地組中に腹起材（H形鋼）に挟まれ被災

#### <事故概要>

- 山留支保工の組立て作業中、地組が完了した腹起材の上に、もう1セット腹起材をのせて地組を行っていたところ、地組中の腹起材が滑り落ち、作業員が肩及び下半身を被災。

#### <事故原因>

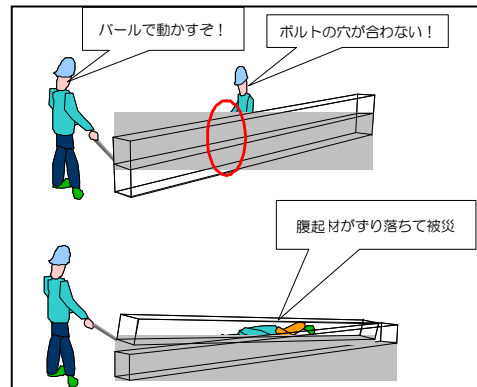
- 腹起材の上で地組作業を行ったこと。
- 地組作業の明確な作業手順等の指示不足。

#### <事故防止対策案>

- 作業手順を明確にし、起こりうる事故の対策を講じた上で、安全な施工を行う。
- 常に作業環境を把握・確認し、改善に努める。

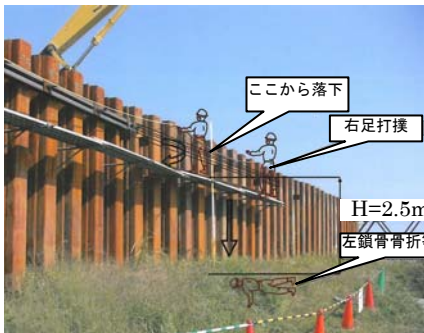
現場状況写真

滑り落ちた腹起材（H鋼）  
L=11.5m  
W=1.725t



事故状況図

### 事例② 腹起材が足場上に落下し、作業員が転落



現場状況写真

#### <事故概要>

- 作業員2名が足場上で二重締切タイロッドの撤去作業を行っていたところ、腹起材が突然足場上に落下した。
- 落下の弾みで足場が揺れ、作業員1名が足場から転落、もう1名の足に腹起材が接触した。

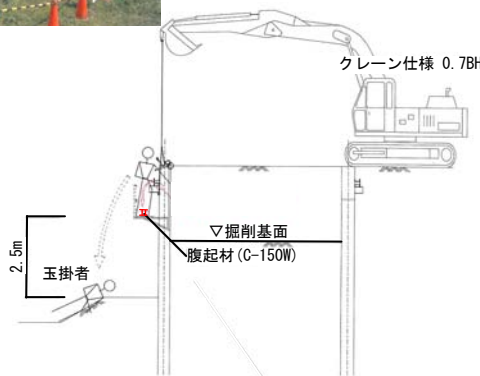
#### <事故原因>（詳細については現在調査中）

- タイロッドの引き抜きに支障となるためと、手すりを外していたこと。
- 安全帯の使用が出来ていなかったこと。

#### <事故防止対策案>

- 安全帯の確実な使用を徹底する。
- 足場の安全を確保する。

断面図



# 事例③ 路上作業中に一般車両と衝突

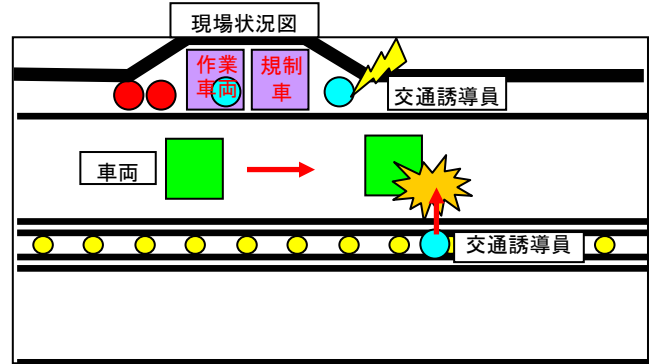
## <事故概要>

- ・ 自専道に設置している気象観測装置点検を行う際、片側交互通行規制の準備作業において、交通誘導員がセンターライン上のポストコーンの撤去時に、接近した車両と衝突。
- ・ 交通誘導員は別の誘導員の、車両接近を知らせる笛を聞き、安全確認をせずに路肩へ退避した時に発生した。

## <事故原因>

- ・ 交通規制をせずにポストコーンの撤去作業を行ったこと。

※なお、詳細については現在調査中ですが、注意喚起のため掲載するものです。



現場状況写真



現場状況写真



## <事故防止対策案>

- ・ 道路交通規制については、交通規制中だけでなく、準備作業段階及び撤去作業段階時の、全ての状況における安全管理を徹底する。
- ・ 作業中に車両衝突の危険が生ずる可能性があれば、交通規制を行う。
- ・ 作業については、車両との距離などを常に目視で確認する。

# 12月1日から12月15日は 平成21年度工事安全強化期間です

平成21年度 工事安全強化期間は12月1日（火）から12月15日（火）です。期間中は、点検・パトロール等の実施を強化するなど、より一層の安全管理に努めてください。

一人一人が安全管理の責任者。  
気付いたその場で即改善！！



今年も残すところあと1ヶ月。安全に1年を終えましょう。